

## 一番街商店街振興組合(豊田市) 【代表者:理事長 本多勝幸】

### キャッチフレーズ

変わらない信頼。変わっていくストーリー

### 活性化モデル商店街としてのモデル性

個々の既存店舗においては消費者から信頼される店づくりを指向しながら、空き店舗での新規創業を積極的に誘致し、人々に愛され、居心地の良い商店街として周辺居住者等を日常的に集客することを目指す生活支援型商店街

### 商店街の将来ビジョン

一番街商店街は、日用雑貨等の生活用品を買い求めることができる古くからの店舗があり、近年、周辺では大型マンションの建設が相次ぎ、商店街の再生には絶好の機会である。

さらに、当商店街を通る都市計画道路「竹生線」や、商店街地区内の桜城址公園が平成20年度中にリニューアルされ、こうした商店街を取り巻く環境整備を契機として、周辺居住者等をリピーターとして惹きつけられる商店街を目指していく。

#### 1 いつ来ても居心地の良いまち空間、お店・サービスを提供する商店街

公共空間を利用したスモールカフェの展開、また対面販売で来街者との交流を意識した開放的な店づくりなどを通して、人と人とのふれあいの機会があり、周辺居住者等の憩いの場となる商店街を目指す。

#### 2 高質なライフスタイルを提案し『一番街商店街』ファンを創る

豊田市商店街連盟が実施している一店逸品運動への参加や、商店主が商店街を案内して回る取組などにより、ホンモノの質とオリジナリティを提供し来街者との信頼の絆を育む。

#### 3 竹生線道路リニューアルを契機に商店街の存在を特徴づける街並みを創る

公共整備と連動した商店街ハード整備(街路灯・モニュメント等)を行い、街区の魅力化を図る。

#### 4 建物(特に1階)の店舗化を維持・推進する

商店街全体としては店主の高齢化や後継者不足問題が顕在化し活力の低下が懸念されるため、中心市街地活性化基本計画の民間事業「空き店舗対策(マッチングシステム)」を活用して商店の集積を図る。

### 具体的に取組む事業内容

街路灯建替・モニュメント、街路灯フラッグ作成 (20年度～21年度)

竹生線電線類地中化工事に合わせ、環境に配慮したLED仕様の街路灯を設置する。また、特徴的・魅力的な街並みづくりのため、置き看板と街路灯フラッグを設置する。

1の日祭 (21年度～22年度)

毎月1日を商店街のサービスデーとして、ライブ、寄席、フリーマーケットの実施や商店街サービスチケットの作成を行う。

商店街情報発信事業(21年度～22年度)

商店主が商店街を案内する「お店拝見ツアー」の実施、お店紹介 BOOK や商店街マップを作成する。